

日本リハビリテーション工学協会は、生活を行う上で障害を有する人々に対し、その生活を豊かにするための工学的支援技術を発展・普及させるとともに、この技術を通じて学術・文化・産業の振興に寄与することを目的とし、この目的に賛同する個人および団体によって構成されています。

## ◎ 会員の特典

- 協会誌「リハビリテーション・エンジニアリング」を送付（年4回）  
※バックナンバーも会員価格で購入できます。
- 協会誌に論文投稿ができます。
- 「リハ工学カンファレンス」（研究発表大会）にて発表することができ、会員価格で参加できます。
- その他、協会主催セミナーに会員価格で参加できます。

## ◎ 協会事業

### ◆「リハ工学カンファレンス」

障害のある人のリハビリテーションを支援する機器や技術について、リハビリテーションに関係するさまざまな分野の参加者が互いに理解できる言葉で納得できるまで討論することを目的として、毎年1回全国各地で開催しています。リラックスした雰囲気での議論するために、ノーネクタイであることが特徴です。

#### 第30回リハ工学カンファレンス

2015（平成27）年11月13日（金）～15日（日）

沖縄県総合福祉センター

（沖縄県那覇市首里石嶺町4丁目373-1）

### ◆福祉機器コンテスト

障害のある人や高齢者のために新しく開発された福祉機器を発掘し、優れた機器を表彰するとともに、学生を対象とした啓蒙・普及を通じてこの領域に関する認識・参画を促進することを目的とし、年1回開催しています。一般を対象とした機器開発部門と、学生を対象とした学生部門があります。

2013年度は、25回目の開催となります。

### ◆協会誌「リハビリテーション・エンジニアリング」発行

特集記事や投稿論文を掲載した協会誌「リハビリテーション・エンジニアリング」を年4回発行しています。

そのほか、障害のある人のリハビリテーションに役立つ工学・技術に関する図書を発行しています。

### ◆分科会活動

#### ◀SIG活動▶

SIGはSpecial Interest Groupの略称で、「シグ」と呼んでいます。リハビリテーション工学に関係するさまざまな分野や興味ある領域ごとに、現在、10グループが活動しています。

#### コミュニケーションSIG

コミュニケーションは、人が生きていく上で根源的なテーマであり、障がいがある人々が日々の生活において生き甲斐や自己の役割を見出す上で重要な意味を持ちます。

コミュニケーションSIG（COMSIG）は、コミュニケーション機器や操作スイッチなどに関する情報収集や情報交換、講習会などの啓蒙活動、わが国における先導役として取り組んでいます。

#### SIG姿勢保持

重度の障害や高齢化にて座立などの姿勢を保持することが困難になった場合、生活のあらゆる場面で適切な姿勢を保持することにより、自立を支援しQOLを高める必要があります。

本SIGでは幼児から高齢者まで個々の状態に対応した姿勢保持の理論から実践的な技術について、毎年開催する講習会や講習会テキストなどによって伝達・情報交換を目的に活動しています。

#### 車いすSIG

車いすSIGは車椅子に興味と関心を持つ人たちが集まり、車椅子に関する技術や知識を深め、使い方や選び方、作り方などを発展させようとする会です。

車椅子に関わる問題と解決方法を探るとともに、車椅子を必要とする人の生活や車椅子の質の向上をめざして、車椅子に関する講習会の開催、テキストの編集と発行、車椅子の歴史調査、JIS/ISO規格等に関する調査研究、製品の情報伝達、車椅子工学領域の調査研究など、メンバー相互の情報交換を行っております。

#### 乗り物SIG

乗り物SIGは、生活に不便を感じる小児、大人、高齢者、一時的な障害をお持ちの方などの移動や乗り物全般、公共交通のバリアフリー、近未来のモビリティなど、移動環境を取り巻く様々な課題について、会員相互で年齢、立場を超えて情報交換し、論議して情報を求めている方々への確かな情報伝達を目的に活動するグループです。

#### 自助具SIG

自助具SIGは、不便を感じながら自立生活を営む人々の日々の生活をサポートする環境づくり・モノづくりのグループです。自助具とは、体の不自由な人が日常生活動作をより便利に、より容易にできるように工夫した道具です。私たちは、自助具使用にあたっての適応とその効果の判定や、自助具の製作技術を体型化し広めるため、自助具に関する研究・開発・情報交換を行い、普及・促進を図ることを目的として活動して行きます。

#### 特別支援教育SIG

特別支援教育SIGは、障害のある子ども達が育つ中で、生活面や学習面、遊び、教育制度、その他さまざまな困り事について、工学的なサポートを通じて改善しうる情報を交換・共有することを目指すグループです。他のSIGとの交流をはじめ、子どもの育ちを支える情報交換・伝達を目的に活動します。

#### SIG住まいづくり

SIG住まいづくりは、多様な分野からの参加者を得て「住まいづくり」に必要な、技術的課題の探求を始め、チームアプローチによる課題解決の方法論、情報の交換から学際的な研究までを行うことを目的としています。また、まちづくりなどバリアフリーデザイン全般への展開も目指します。

#### 移乗機器SIG

「移乗」は障害者・高齢者の生活範囲を広げる基本動作です。本人も介助者も、楽に安心して、安全で満足できる方法で移乗動作を行うことが大切です。本人の能力を活かし、介助者の身体を守る方法とはどのような方法でしょうか。移乗に関連した福祉機器類を中心にしながら、移乗動作のあり方や移乗用具の選定手法などを考えていくグループです。

#### SIG褥そう防止装置

SIG褥そう防止装置は、褥そう予防のために基礎研究から臨床応用まで幅広い範囲にわたって専門が異なるさまざまな職種が協働しているグ

ループです。1997年より活動しています。活動は、リハ工カンファレンス開催時の基礎講習会、用語の検討などを行なっています。関連団体と協力しながら、進めています。

### 義肢装具SIG

義肢・装具は身体に直接触れる一番身近な福祉用具です。義肢装具SIGは義肢・装具に興味と関心を持つ色々な立場の人たちが集まり、理解を深めていく場です。初めての人でも理解できる基本的なことから先端技術まで様々な情報について、講習会やホームページで情報交換を行ない、義肢装具に関する諸問題をユーザー視点に立って解決することを目指しています。

### ◀地域支部による活動▶

地域支部は、地域に根ざしたリハビリテーション工学の実現と、豊かなまちづくりに貢献するために、各地域での具体的な実践的な支援ネットワークの構築を目的として、活動しています。

これまで中部支部、関西支部、九州・沖縄・山口支部が設立されており、東北支部も設立に向けて検討・準備に入っています。

### ◆セミナー・講習会の開催

障害のある人のリハビリテーションに有効な工学・技術に関するセミナーや講習会を開催しています。

- リハビリテーション工学国際セミナー(REIS) (1988年・横浜/1990年・名古屋/1992年・神戸)
- 東京障害者連合会・日本リハビリテーション工学協会合同シンポジウム (2004年・東京)
- 全国障害者連合会・日本リハビリテーション工学協会合同シンポジウム (2008年東京/2009年神戸/2010年東京)
- 国際福祉機器展 HCR、西日本国際福祉機器展、バリアフリー展等の展示会での出展セミナーなど

### ◆国際連携

北米リハビリテーション工学協会 (RESNA)、欧州リハビリテーション工学協会 (AAATE)、豪州リハビリテーション工学協会 (ARATA) と連携関係の覚書「徳島アグリメント」を締結 (2000年8月)、韓国の RESKO とも連携協定を締結 (2011年9月) するなど、リハビリテーション工学や福祉用具に関する国際連携活動を行っています。

## ◎ 入会案内

### ◆正会員 (会員年度は毎年7月より翌年6月)

当法人の目的に賛同して入会した個人又は団体を対象

入会金1,000円および年会費8,000円、計9,000円を事務局口座にお振込みの上、別紙の入会申込書 (ホームページからもダウンロード可能) またはHPの専用フォームにて必要事項を記入し、事務局へ郵送またはファックスでお送り下さい。

### ◆学生会員 (会員年度は毎年7月より翌年6月)

当法人の目的に賛同して入会した学生を対象 (定職を持つ者は除く) 年会費4,000円 (入会金不要) を事務局口座にお振込みの上、別紙の入会申込書 (ホームページからもダウンロード可能) またはHPの専用フォームにて必要事項を記入し、事務局へ郵送またはファックスでお送り下さい。ただし単年度会員となりますので、継続する場合は毎年度入会手続きをお願いします。

※下半期 (1月から6月) に正会員、学生会員で入会の場合、初年度年会費の半額免除を受けることができますが、上半期に発行された協会誌は受け取れません。

### ◆賛助会員 (会員年度は毎年7月より翌年6月)

当法人の事業を賛助するために入会した個人又は団体を対象。

1口10,000円で年度あたり最低3口以上をお願いします (入会金不要)。  
本協会が主催するカンファレンス等に、口数に相当する人数が会員資格で参加できます。大口会員には協会誌への広告掲載等の優遇があります。

### ◆購読サービス (サービス年度は毎年4月より翌年3月)

法人・団体が対象。年間10,000円で当該年度に発行する協会誌 (年4冊: 5、8、11月、翌年2月発行予定) ・リハ工学カンファレンス講演論文集・福祉機器コンテスト報告書を購読できます。また、年間5,000円で協会誌のみ (4冊) の購読もできます。購読サービス申込書は事務局へご請求下さい。

登録手続きに2週間程かかる場合がありますのでご留意下さい。年度途中の入会の場合でも、その年度に発行された協会誌を受け取ることができます (正会員・学生会員の下半期特例を除く)。

※詳細は入会案内をご覧ください。事務局までお尋ねください。

一般社団法人

# 日本リハビリテーション 工学協会のご案内



<http://www.resja.or.jp/>

### 事務局

〒235-0033 横浜市磯子区杉田2-7-20

電話 045-353-8364 FAX 045-353-8365

E-Mail: [resja@resja.or.jp](mailto:resja@resja.or.jp)

郵便振替 口座番号: 00260-9-54031

口座名称: 一社) 日本リハビリテーション工学協会  
シヤ) ニホンリハビリテーションコウガクキョウカイ

2013.09